

特定非営利活動法人共創コミュニティmidori-ba 設立趣意書

1. 設立の背景および目的

本団体は、川崎市市制100周年記念事業「みどりの共創プロジェクト『コミュニティ×みどり』」から生まれました。2022年以降、複数回にわたる実証実験と検証を経て、共創型の「みどりのコミュニティ」が育まれてきました。近年、都市部では行政の施策により緑化空間の整備が進んでいますが、「みどり」の質や市民の公平なアクセスに関しては、依然として課題が残っています。今後は、単なる緑の量的拡充にとどまらず、多様な価値を備えた持続可能な「みどり」のあり方が求められます。

そこで、私たちは都市に暮らす人々のなかには、みどりに関心はあるものの、関わる機会を持たない層（以下、「みどりのライト層」とする）が一定数存在していることに着目し、midori-baというプラットフォームを通じて、そうした人々が「みどり」と出会い、関わる場や機会を創出し、人とみどり、そしてまちをつなぐ架け橋となることを目指します。

「Enjoy Greening！ーこころとまちにみどりをー」を理念に、地域の仲間とともに共創によるみどりのコミュニティを育て、「地域コミュニティの拠点」となるみどりの場づくりを進めていきます。さらに地域活動の担い手が減少する中で、組織の枠を超えたネットワークづくりや、団体設立初期の活動支援など、みどりの担い手を増やすための基盤整備も担います。具体的には、共創コミュニティとしてのmidori-baを通じて「みどりのライト層」と「みどりの場」をつなげることで、“みどりの関係人口”を拡大し、みどりの量・質・社会的価値を高める好循環を生み出します。これにより、「みどり×コミュニティ」の力で、誰もが心豊かに暮らせる、持続可能なまちづくりに寄与してまいります。ゆくゆくは民間との連携や中間支援的な役割も担いながら、P-PFIや指定管理などによる公園運営・まちづくり事業への展開も視野に入れ、官民連携による公共空間の利活用にも取り組んでいきます。

2. 活動内容

本法人は特定非営利活動として、以下のような活動を実施します：

- ☐ ホームページやSNSを活用したみどりを利用した市民活動等の情報発信
- ☐ 市民参加型イベント（例：midori-ba FES、Green Hack!）の企画・運営
- ☐ 共創コミュニティmidori-baを通じた共創事業の立ち上げ、伴走
- ☐ 都市型農業や耕作放棄地の再生、緑化空間の利活用
- ☐ PFI・Park-PFI等を含む指定管理者事業等への参画と民間企業との連携

3. 期待される効果

本法人の活動を通じて、多様な主体によるオープンスペースの利活用が促進されると共に、広く市民にとってみどりを生きた活動やその活動への参加方法をわかりやすくすることで、私たちが定義する「みどりのライト層」が日常的にみどりに触れる機会を増やすことに寄与します。また新たなみどりの活動団体を支援することで、これまで未利用だった都市のオープンスペースを有効に活用する機運が高まっていきます。これらの活動の展開により、地域の魅力向上やみどりを通じた関係人口の拡大が期待されます。さらに、これまで十分に評価されてこなかった「みどりの潜在的価値」が再認識され、「みどりのアクセスフリー」が推進されることにより、「みどりのあり方」そのものが見直される契機となると信じています。これらの動きは、地域全体におけるみどりを育む機運の醸成に繋がり、人とみどり、まちが共に支え合う関係を構築することで、単なる環境対策に留まらない、多面的かつ持続的な価値の創出をもたらすと確信しています。

4. 法人の方針

営利を目的とせず、透明性と公共性を重視した開かれた運営を行い、地域に根ざした共創コミュニティとして持続可能な活動を推進します。法人格の取得により、信用力を高め、行政・企業・他団体との協働を進める体制を整備し、説明責任を果たしながら公益の増進に努めてまいります。

2025年8月5日

特定非営利活動法人共創コミュニティmidori-ba

設立代表者 齋藤 集平